



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

6月号

平成30年6月1日号

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第348号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/総務課長 横井 悟

循環器内科がパワーアップしました！

新渡戸記念中野総合病院 循環器内科部長 武井 秀信

当院の循環器内科は近年1名体制(増村医長)で続いておりましたが、2018年4月1日より東京医科歯科大学循環器内科より当方が部長として、さらにもう1名新進気鋭の矢田医師、計2名が新たに赴任し、合わせて3名での運営となりました。3名体制になることで、心疾患から大動脈や末梢血管疾患まで幅広く対応することが可能となりました。具体的には心疾患としては狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、心不全などであり、血管疾患として大動脈瘤、肺血管疾患などが挙げられます。

新しい循環器内科を運営していくにあたり、当院の中の体制も変わりました。1つ目の変化を増員とすれば、2つ目は設備面です。増員に伴い当院の1階、放射線科の奥に心臓血管撮影装置が新しく設置されました。心臓血管撮影装置の稼働にあわ

せて、冠動脈内超音波装置(IVUS)や大動脈内バルーンパンピング(IABP)などの周辺機器も購入されております。2つとも冠動脈ステント留置術を安全に施行する上で欠かせない機器で、2018年3月から運用を開始し、現在、心臓血管造影や冠動脈ステント植え込み術、ペースメーカー植え込み手術を週に2回(火曜と木曜)のペースで施行しております。

さらに3つ目の変化としては、循環器内科の患者さんを専門に受け入れる病棟ができました。当院の7病棟が主として循環器患者さんが入院する病棟で、心電図モニターや圧波形を記録できるモニターが多数準備され、順調に稼働しております。

新しくなった循環器内科、これからは3人体制で頑張っけて参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



第1回市民フォーラムを開催しました

さる3月31日(土)、東京都生協連会館会議室に於いて「自宅で自分らしい最期を迎えるために～在宅看取りの現場から～」と題した市民フォーラムを、新たな試みとして当院が主催しました(さくらクリニック共催)。

冒頭で、さくらクリニックの佐藤 志津子院長に、在宅看取りの現状を踏まえた今回のフォーラムの趣旨を説明いただきました。



当日のプログラム

1	自宅療養を決めたら ～ケアマネジャーの立場から～ 中野区医師会ケアプランセンター 川崎 英子さん	ご本人、ご家族のお気持ちに寄り添い、最期の時間を大切に過ごせるようなケアプランを考えるケアマネジャーの役割を、お話いただきました。
2	自宅でのお看取りの実際 ～訪問看護師の立場から～ 中野区医師会訪問看護ステーション 遠藤 貴栄さん	実際の事例2例を提示いただき、訪問看護師としての支援方法を示されました。
3	訪問診療で何をするか さくらクリニック 佐藤 志津子院長	在宅看取りとなった事例を提示しながら、在宅医療でできることを丁寧に解説いただきました。
4	「看取り」も支える最後の砦 ～地域包括医療のなかで～ 当院神経内科兼脳卒中科部長 融 衆太	在宅医の先生と連携を取り、在宅患者さんの状態変化があった場合に受け入れを行い、病院としての役割を果たすことを表明しました。
5	おだやかな看取りを明日に活かすみち ～御遺体から学ぶ～ 東京都医学総合研究所 脳病理形態研究室 内原 俊記室長	神経疾患在宅療養者の看取り後に病理解剖することで、病態を在宅医とも共有することが可能となり、地域全体の医療水準が高まるとご指摘いただきました。

活発な質疑応答もあり、在宅看取りを考える良い機会になったと思います。ご出席いただいた106名の皆様、演者の方々、会の準備にご協力いただいた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。なお、このフォーラムは、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団からの助成で開催いたしました。

第18回 新渡戸記念中野総合病院 区民健康講座のお知らせ

- 日時 2018年7月28日(土) 午後2時～3時
- テーマ 心臓を健康に保つ ～狭心症や心筋梗塞を防ぐために～
- 講師 新渡戸記念中野総合病院 循環器内科部長 武井 秀信
- 場所 東京都生協連会館3階会議室
- 定員 50名(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)
- 参加申し込み先 地域医療連携室 ☎03-3382-1231(内線211)
または総合受付④番窓口





総合防災訓練を実施しました

新渡戸記念中野総合病院は東京都より災害拠点病院に指定されています。災害拠点病院は、災害発生時に主に重症者等の収容・治療を行います。そのための訓練を年に1回行っています。

今年は3月24日(土)午後2時より、東京湾北部を震源とする震度6強、マグニチュード7.2の地震が発生した想定で防災訓練を行いました。訓練には職員約70名と中野区医師会の先生6名が参加。中野区地域防災計画に則って、災害発生時に災害拠点病院等の前において傷病者のトリアージ(患者さんの重症度に基づいて治療の優先度を決定して選別を行います)を中野区医師会の先生方に担っていただくため、今回の合同訓練をお願いいたしました。

地震発生後、病院内の患者さんの安全確保及び被害状況を確認して、通常の診療体制から災害医

療体制に移行しました。外部傷病者の受入準備を整え、職員が模擬患者となり病院前トリアージ訓練を実施。中野区医師会の先生により、患者の状態を把握し素早くトリアージを行い、中等症患者、重症患者は病院内に搬送します。病院内では搬送された患者の受け入れ、治療訓練を行いました。

今回の防災訓練は中野区医師会の先生にもご協力いただき、非常に有意義な訓練となりました。今後も中野区医師会の先生と連携を取りながら、いつ来るか分からない地震に対応できるように、職員一同日頃より準備をしていきたいと思っております。

(施設課長 小林 則人)



6月の小児救急体制



新渡戸記念中野総合病院では、中野区並びに中野区医師会のご協力を得て、小児の初期(1次)救急として「**準夜間小児初期救急医療**」を救急外来で実施しています。

一般診療所の診察時間が終わった後、お子さまが急病の際には、下記の**夜間受付電話**にご連絡のうえ、ご来院ください。15歳以下のお子さまを対象に、小児科医が診療を行います。

***血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。**

6月1日から30日までの準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

受付時間 毎日午後**6時30分**～午後**9時45分**

診療時間 毎日午後**7時**～午後**10時**

夜間受付 ☎**03-3382-9991**

6月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
					1 清水 泰岳	2 保崎 明
3 右田 王介	4 小須賀 基通	5 高梨 栄	6 村杉 寛子	7 堤 範音	8 亀井 宏一	9 清水 泰岳
10 亀井 宏一	11 小須賀 基通	12 千葉 智子	13 久利 由美	14 木村 将裕	15 清水 泰岳	16 右田 王介
17 右田 王介	18 小須賀 基通	19 山田 正興	20 右近 智雄	21 堤 範音	22 右田 王介	23 清水 泰岳
24 清水 泰岳	25 小須賀 基通	26 細谷 直人	27 宇都 ちひろ	28 木村 将裕	29 清水 泰岳	30 亀井 宏一

新渡戸記念
中野総合病院を支える

職場紹介

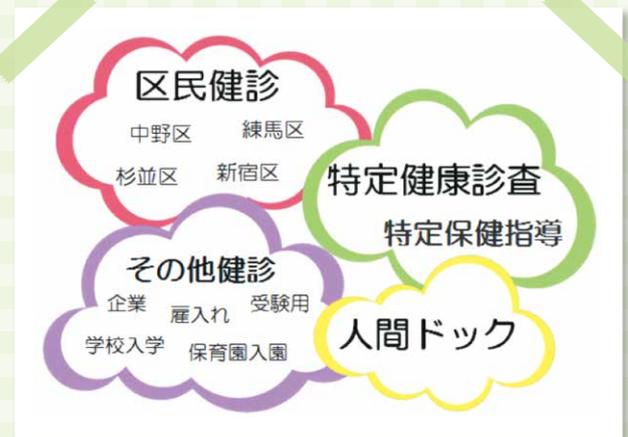
あなたとあなたの大切な人のために健康診断を受けましょう 健康管理科

健康管理課長 服部 久美子

健康管理科では、各種健康診断を実施しております。たとえば、国民健康保険に加入されている方対象の区民健診や、企業健康保険組合を通して受診できる企業健診、入社・入学・保育園入園前の健診、午前中で検査が終了する「日帰り人間ドック」などです。また、婦人科検診(乳がん検診、子宮がん検診)や腫瘍マーカー(血液検査)、動脈硬化検査などのオプション検査もご用意しております。

健康診断は日曜日・祝日を除いて受診できますが、一部事前予約が必要な場合もございます。受診するにあたっての注意事項などもございますので、ご不明な点がございましたら、お気軽に健康管理科(1階5番窓口)までお問い合わせください。お電話でも受け付けております。

1年に1回、ご自分の身体の状態を知ること、病気の早期発見、早期治療の可能性も高まります。これまで病気知らずという方も、身体の異変を感じていない今だからこそ、積極的に健康診断を受けましょう。また、ご家族などまわりの方で普段健康診断を受けていない方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘い合わせの上、受診しましょう。



月・火・木・金・土曜日は健康管理科部長の土肥 まゆみ医師が、水曜日は鈴木 紀恵医師が担当しております。5名の健康管理科事務スタッフと、検査科をはじめ各科職員一同、皆様の受診をお待ちしております。

健康診断・区民健診についてのお問い合わせ先
(内容・実施日等)

☎03-3382-1231 (代)

内線：295・296 健康管理科まで

平日 9時～16時30分 / 土曜 9時～12時(日曜、祝日を除く)

新渡戸 の 言葉

新渡戸稲造先生は『武士道』を格調高い英文で著し、日本の文化や風習について世界に発信しました。それは日本人の心と姿を正しく偏らず海外へ伝える一方で、欧米とは異なる文化や民俗の価値を高らかに謳い、世界に最も影響を与えた一冊になりました。その根底に流れているのは、新渡戸先生が大切に行動規範となった倫理的態度「sense of proportion」です。均衡や均整を表すproportionの感覚とは“様々な価値観のバランスを図って、それぞれの状況の中で、妥当な判断を下す柔軟な感覚”(斎藤 兆史)であり、中庸や常識にも通じ、バランスの取れた品格と実行力を兼ね備えていた新渡戸先生を理解するkey wordです。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

新渡戸 稲造

新渡戸先生が好んだ言葉に
*sense of proportion*がある。
小さいものは小さいものとし
て捉え、大きいものは大きい
ものとして捉えるということ
で、要はバランス感覚である。